

### 重点課題3. 企業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

分類	やるべきこと
産業教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学生や高校生に、起業について学ばせる機会を設ける</li> <li>●キャリア教育棟の産業教育の充実</li> <li>●高等学校において長期の修行と熟練を必要とする「職人」育成体制を構築する。授業料の減免、卒業後の就職先の確保、公務員に準ずる賃金保証等。</li> <li>●起業家大学(支援資金、施設・場所の提供、フリーマーケット的販売法、素人の見せ、体験型)</li> </ul>
起業のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生(あるいは若手)ベンチャー支援のためのファンドを設立、コンテストなどを開催し優秀な企業には資金を提供する</li> <li>●起業家大賞等の顕彰事業。(助成にも出来る起業家への道筋づくり)</li> <li>●公的資金を含み、市内有休土地・建物・農業施設などの実態調査、利用可能性調査を実施する。</li> <li>●上記土地・設備の私有財産に対する固定資産税の大幅減免</li> <li>●公有資産については賃貸料を低料金とし、インキュベーターもこの範疇に含める。</li> <li>●起業家支援(資金支援、施設・場所の提供)、フリーマーケット的販売法、素人の店、体験型の店</li> <li>●他の自治体よりも厚遇な行政による支援を行う 例:事務所の貸与、店舗の家賃補助</li> <li>●空き店舗を2年を限度として無料で貸し出す。</li> <li>●資金支援(試験、面接等で通った者のみ)</li> <li>●ベンチャー企業への多様な支援(金銭的、情動的)</li> </ul>
意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シニア層(退職をした団塊世代の人たち)や主婦層への啓蒙</li> <li>●全国的に知名度のあるベンチャー企業の社長の講演会を定期的に行う</li> <li>●県と連携し、高校の部活に「起業部」を作り、高校生のうちから企業に対するの興味を高める</li> </ul>
起業支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他県で活躍している起業家を誘致してくる(そのためにも魅力的な制度が必要)</li> <li>●行政による企業化支援(インキュベーター)</li> </ul>
起業ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異業種交流会の開催(商工会議所が実施している起業家支援講習会、情報提供の促進等)</li> <li>●マルチメディア情報センターの整備(中心市街地に、いつでも誰でも訪れることができる場所)</li> <li>●産学連携事業の拡大</li> <li>●産学連携による新商品の研究開発</li> <li>●産学連携による就業体験</li> </ul>
モデル事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宇都宮大学と農業者(農協、農業試験場、農業法人等を含む)が連携して、食品関連の新しい産業を興すビジネスモデルを作る</li> <li>●観光産業の開発(ニュービジネス レストラン、みやげもの店、直売所の開設等)</li> </ul>

## 重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

分類	やるべきこと
高齢人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定年退職者層へのアプローチ(労働力としての活用と技能伝承者としての活用)</li> <li>●技能継承塾のような講座を設け、若年層に魅力や存在価値を理解させる</li> <li>●高齢者人材の活用(70歳を実質定年とし、意欲・能力のある高齢者を積極的に活用する。肉体労働よりも、知識と経験を生かせる軽労働が望ましい)</li> <li>●人材派遣会社、ハローワークと提携</li> <li>●シルバー人材センター、シルバー大学校との連携による高齢者の労働活用</li> <li>●退職～65歳までの高齢者(希望すればそれ以上でも)を会社が受入れる仕組みを作る</li> <li>●団塊の世代の有能で体力のある労働力の活用</li> </ul>
ニート・フリーター対策、若年者就業促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニートの活用=&gt;市内中の様々な業種業態の中小企業に協力してもらい、数ヶ月の企業体験を通し興味、気づきを与え就職させる</li> <li>●若者に魅力的な職場づくり(受験本位の教育内容を改革し、仕事と人生の関係を哲学的に再教育する。長期的な人材育成、企業帰属意識、社会的責任等の再教育を行う。)</li> <li>●若者の勤労意欲を向上させる工夫(職場で育てていく度量k、労働する喜びを職場で醸成していく仕組みづくり等)</li> <li>●誇りのもてる職場づくり、若者の地元指向、職場環境の整備、福利厚生施設等の整備</li> <li>●小中学校の段階から、働く事の大切さを学校で教えるようにする。イメージは二宮尊徳の現代版。</li> <li>●ニートとその保護者を対象として職業訓練所、職業案内所、相談窓口の役割を果たす窓口の設置</li> <li>●都内等年に流入している宇都宮出身者のUターン就職の促進</li> <li>●若い世代の意見を取り入れた職場環境と企業経営</li> </ul>
女性の就業環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育児を終えた主婦層の活用と子育て世代の主婦が働ける環境の整備</li> <li>●育児環境の整備(制度改革と起業の意識改革が必要。育児休暇取得状況等の実態調査、問題点と改革方向の明確化・保育所などの公的補助制度の充実も喫緊の課題である。)</li> <li>●女性労働者の確保と促進(少子化対策として育児と仕事の両立可能な就業体制の工夫)</li> <li>●育児環境の整備、高齢者と子育て環境の場の連携・整備</li> <li>●育児中の女性が働きやすい環境を整える。例:終業時間を10時から3時にする。</li> </ul>
外国人労働者の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人労働者の適切な活用(介護福祉関連人材のフィリピンなど東南アジアからの受け入れ体制をつくる。受入れにあたっては資格審査を厳密に行う。また公的機関において的確な研修を実施する。不都合が生じた外国人は即時帰国させる体制を作る)</li> <li>●外国人の受け入れ態勢を整備する。例:住居確保、公共施設の案内等の英語表記、必要あれば特区申請。</li> </ul>
教育機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業経済大学の設置(専門学校) 地元学生の優先入学、就職斡旋等を行う</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者が魅力をもてるまちづくり。若者のニーズを汲み取る。文化的面、遊べる場。</li> </ul>

## 重点課題5. 中心市街地空洞化への対応

分類	やるべきこと
魅力ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地の商店の魅力づくり(若者向けショップの誘致等)</li> <li>●商店街で買物、飲食すると得られるポイントカードの発行(学割、ペア割当)</li> <li>●市街地の魅力ある拠点づくり(新しいスポットとなる施設をアピールしながら楽しい買物、遊べる、飲食できる等、人間の五感に働きかけていく仕掛けづくり)</li> <li>●中心市街地に一般市民が参加できるような店舗の開設。常時フリーマーケット制。農産物直売所。</li> <li>●直売所と差業態検討の斡旋</li> <li>●医療施設、高齢者用マンションの誘致(定年後の高齢者にとって住みよいまちであることを徹底的にPRする。)</li> <li>●中心市街地に一般市民が参加できるような店舗を開設。常時フリーマーケット、農産物直売所。</li> <li>●魅力ある商店街の形成 イメージ例:オリオン通の商店をショッピングモールの店舗に置き換えてみた場合明らかに魅力の劣っている店舗は業種の変更も視野に入れて魅力ある商店街を心掛ける。</li> <li>●休日の大通りの歩行者天国の実施</li> <li>●道路上のオープンカフェ、フリーマーケットスペースなど。大型ショッピングモールとは異なる魅力づくり。</li> <li>●二荒山神社前の再開発だけでなく、具体的な馬場通の復興、空き店舗活用(朝市など)</li> <li>●ショッピングだけでなく、やすらぎの求められる空間の構築</li> <li>●全店舗でのマイレージ制(ポイント制)。①宇都宮市街地独自のポイント、②他のマイレージと交換できるポイント例:ヤマダ電機、楽天、JALなど</li> </ul>
有休施設活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地場産の野菜、果物、加工食品等、直営店の経営を中心市街地の空き店舗利用で行う</li> </ul>
集客イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二荒山神社前広場での休日ごとのアトラクション開催</li> <li>●直売所と差業態検討の斡旋(アクセスポイント)</li> </ul>
情報提供の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地での祭事、祭等の情報提供の徹底と工夫(メディアの適切な活用)</li> </ul>
アクセス改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>●わかりやすい駐車場の案内、低料金化・割引制の導入</li> <li>●無料駐車場や無料交通機関の整備、拡大</li> <li>●駐車場、駐輪場の最初の1時間は無料。又は4千円以上の買物をすれば2時間は無料等、十分な収容施設確保</li> <li>●交通アクセスの利便性の強化</li> </ul>
PRの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宇都宮市のPR。石のまち、城のまち、農のまち、花のまち等。</li> </ul>
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県外から有名メーカーを企業誘致。</li> </ul>